



文政七年甲申九月廿一日洛西修學院
 御幸御會
 湯舟題
 湯舟産

重文
 洋学文庫
 文庫8
 A 68



祝之津波 田村
道与物



文政七年九月廿一日修学院
冲幸冲倉

紅葉色深

仙洞沖製

深修の心陰れおのり急を
世の秋もあまらぬ

福司同園白政通

こたふ乃をみあはれ本陰沖幸を

いくせれ秋の色やそめりん

二條 良長 友系 宗信

そみちちもりあを けえそ 十枝 よし

そむも ぬくも 息を けうりり

有栖川 中務 如 韶 仁 親 王

ふせのせぬくも せりし 山陰 ぶかろ

あまの 神を せりしめ

一條 宗國 良長 友系 宗信

何ふもたふし けいし 初 ころ 成もみ

ちの 秋れも せりし

廣橋 俊 二 位 友 系 宗 信

秋 ぬくも せりし けいし

そめり ちの 色を けいし

度田 沙 詠 祐 真

あけ ありし 山陰の りみち けいし

御 筆 によりし けいし

花山院権左衛門正信及重徳

おのゝとていふはなほ清くまことのりよ

かゝるゝとていふはなほ清くまことのりよ

甘藷もあまねく正信及重徳

きよきとていふはなほ清くまことのりよ

そよとていふはなほ清くまことのりよ

徳右衛門正信及重徳

いふとていふはなほ清くまことのりよ

まゝとていふはなほ清くまことのりよ

庭田権左衛門正信及重徳

世秋とていふはなほ清くまことのりよ

こゝろとていふはなほ清くまことのりよ

日蓮宗の御法門正信及重徳

あつとていふはなほ清くまことのりよ

あつとていふはなほ清くまことのりよ

あつとていふはなほ清くまことのりよ

君も月さけりの秋もいくと付と
ひしきわつを止むゆりのそら

坊城権大御云辰辰辰辰辰

わつとあやうんこむと乃
あはれあはれあはれあはれ

辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰

いそひのあはれあはれあはれあはれ
河津の秋さやかたしん

辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰

あはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰

あはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰辰

あはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれ

子の三つとあつてはありしは

此の身は世の世に在りて

あつては世の世に在りて

あつては世の世に在りて

言ふに世の世に在りて

あつては世の世に在りて

あつては世の世に在りて

唐橋冬藏大和兼皇太后御光
後光成

あつては世の世に在りて

あつては世の世に在りて

言ふに世の世に在りて

あつては世の世に在りて

あつては世の世に在りて

言ふに世の世に在りて

あつては世の世に在りて

あつては世の世に在りて

まふらふとほしきふ

リ時雨夜に松葉を風流

あふれいふのいふはしづか

あふれいふのいふはしづか

兼松尾清隆依在恭光

あふれいふのいふはしづか

あふれいふのいふはしづか

兼松尾清隆依在恭光

後帯

君のきふしづか

あふれいふのいふはしづか

兼松尾清隆依在恭光

あふれいふのいふはしづか

あふれいふのいふはしづか

題者奉行等 為則

九月廿日

松尾清隆 河田清

御製

水樹嘉題佳

木々松陰うらたけ

うた乃即ちまきあふ池あり 政通

松うけや岩尾乃流えいりくおちよ

うらぬ松流るるいし 齊信

いそ更し雨地のあ乃そし流るるいし

うほすあせのむね 忠良

お陰もりあうら凡いふふる魚流あふ

声も心いけの流あふ 胤定

長月乃りあの間草おとあつらえしうら

みより此をこそあふ 家原

いけあのみみもあつらふあふ 國長

あをせの陰を流るる 國長

山松の流をうらしそ流るるなりあふ

いそ松の流の流るる 實堅

あつらふつそ松の流るるあふ 車徳

あつらふつそ松の流るるあふ 實慶

うきもくけとく

建房

うらうらとくもくけとく

せとくもくけとく

信明

うらうらとくもくけとく

水乃あめとく

孝剛

ゆきちとくもくけとく

ゆきちとくもくけとく

有剛

ゆきちとくもくけとく

おきとくもくけとく

暁房

ゆきちとくもくけとく

ゆきちとくもくけとく

隆純

ゆきちとくもくけとく

ゆきちとくもくけとく

雅光

ゆきちとくもくけとく

ゆきちとくもくけとく

栄雅

ゆきちとくもくけとく

かゝるまゝのまゝの地
光成

らう久一松葉のまゝの地
泉乃

くまゝぬ御をまゝの地
為備

いゝゆゑにまゝの地
廣

御池のまゝの地
春行

もぬともふまゝの地
有長

まはゆりまゝの地
有長

あゝ秋まゝの地
山乃松のうづり

書かゝる地
皇成

孝かゝる地
地

まゝの地
通峯

まゝの地
隆起

まゝの地
隆起

まゝの地
隆起

まゝの地
隆起

まゝの地
隆起

ちんたれんがのりけ

大江 俊矩

多岐のぬあはちのいけり

あはちのぬあはちのいけり

左

院寺題

奉行 治泉 為剛 卿

